

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

広島特別支援学校

配 慮 項 目			評価点		重み係数		内 訳				
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進											
1.1 建物の熱負荷抑制											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 屋根や外壁の外断熱化、開口部への複層ガラスの設置、適所への底の設置を考慮して、建物への熱負荷の低減を図ります。	5.0	0.19	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	3	外皮性能	
	3.0	0.00									
	4.0	0.81	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制					
	小計	4.2		0.19							
1.2 自然エネルギーの利用											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 太陽光発電を採用し、自然エネルギーを取り入れたパッシブソーラーシステムを実現します。	5.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.1	自然エネルギーの直接利用			
	4.0	0.50		LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.2	自然エネルギーの変換利用		
	小計	4.5	0.10								
	1.3 設備システムの高効率化										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 PAL値：247.4、CEC/V値：0.6、CEC/L値：0.57(高効率HfやLED照明の採用及び星光利用、人感センサー制御)、CECHW値：1.2	4.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化					
	小計	4.0	0.16								
1.4 設備システムの効率的運用											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 システム制御や高効率機器の採用など、設備システムの高効率化を図ります。	5.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング			
	5.0	0.50		LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制		
	小計	5.0	0.10								
	1.5 資源・マテリアル対策										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 1.1 節水型器具の採用、擬音装置 2.2.4 エコマーク商品の採用	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水			
	3.0	0.08		LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無
	3.0	0.04	LR2		資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利用システム導入の有無
	3.0	0.06		LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減		
	3.0	0.19	LR2		資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用		
	3.0	0.16		LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	断体材料におけるリサイクル材の使用		
	5.0	0.16	LR2		資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		
	3.0	0.04		LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材		
	5.0	0.19	LR2		資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		
	小計	3.8		0.31							
1.6 ライフサイクルCO2排出率											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 建築物の建設、運用の各段階から廃棄に至るまで、ライフサイクルを通して排出されるCO2削減を目指した計画とします。	4.6	1.00	LR3	数地外環境	1	地球温暖化への配慮					
	小計	4.6	0.13								
	1. 「地球温暖化対策」の推進の評価										
	4.2	0.72									
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進											
2.1 温熱環境の向上											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 保水性・透水性舗装等面積率が15%以上	3.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出					
	4.0	0.24		Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上		
	5.0	0.27	LR3		数地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善		
	小計	3.8		0.96							
2.2 交通負荷抑制											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 送迎用バスターミナルスペースを十分確保している	5.0	1.00	LR3	数地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制	
	小計	5.0	0.04								
	2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価										
	3.8	0.18									
■ 3. 「長寿命化対策」の推進											
3.1 耐用性の向上											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 外断熱工法を採用し、建物躯体の耐用性の向上を図り、長寿命化対策とします。	4.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	1	耐震性	
	3.0	0.12		Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	2	先進・制振性能
	3.0	0.09	Q2		サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	躯体材料の耐用年数
	3.0	0.09		Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔
	3.0	0.04	Q2		サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
	4.0	0.03		Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔
	5.0	0.06	Q2		サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔
	3.0	0.09		Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔
小計	3.6	0.70									
3.2 設備の更新性											
(コメント) ※設計の計画上位段に配慮した事項を記載してください。 システム制御や高効率機器の採用など、設備システムの高効率化を図ります。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性	
	3.0	0.17		Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給水配管の更新性
	3.0	0.11	Q2		サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性
	3.0	0.11		Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性
	3.0	0.22	Q2		サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性
	3.0	0.22		Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペース
小計	3.0	0.30									
3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)											
	3.4	0.10									
■ 重点項目の総平均(上記3項目)											
	4.1										